

2015年10月29日

保護者の皆様へ

## 2014年度 アンケート結果のご報告

大阪産業大学附属中学校  
校長 大西 陽太郎

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は本校教育活動に深いご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

本校の建学の精神である「偉大なる平凡人たれ」という言葉は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。この建学の精神のもと、学力の定着・向上はもちろんですが、「当たり前」のことが「当たり前」にできる人間性を養う教育を行っています。

また、「楽しいだけでは学校ではない。楽しくなければ学校ではない」と考え、年間を通じてさまざまな行事を行い、生徒が多くのことを体験できるようにしています。そのことが楽しい学校生活、笑顔あふれる学校生活につながっています。

さて、学校教育法の改正に伴い学校評価が義務付けられるようになりました。本校では生徒に「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」「学校生活についてのアンケート」とともに、授業科目ごとの「授業アンケート」を実施しています。

2014年度のアンケート結果を踏まえて、その分析と今後の課題を明らかにします。

### 1. 「授業アンケート」の結果

「授業アンケート」の全教科の平均の結果は、別表の通りです。学校としてはさらにクラス・教科ごとに細かくまとめ、一人ひとりの教員に自らの研鑽の糧となるように、担当クラスごとに結果を返すようにしています。

「授業は分かりやすいですか」の問いには「分かりやすい」「どちらかというと、分かりやすい」を併せると8割を超えており、また「授業は、先生の問題に答えたり発表したりするなど参加しやすいものですか」の問いにも「参加しやすい」「どちらかというと、参加しやすい」を併せると、中学1年生・3年生では約9割となり、中学2年生でも8割台半ばという結果となっています。ほとんどの生徒が、授業に参加しやすい雰囲気の中で授業を受けるとともに、実際に授業に参加していることが実感できていると言えます。

「この教科の内容は理解できますか」との問いには、「理解できる」「だいたい理解できる」を併せると、中学1年生は8割台後半となっていますが、中学2年生・3年生では8割に届いておらず、「理解できる」との回答は、中学1年生で5割台半ば、中学2年生・3年生で3割台半ばとなっています。「この授業の勉強を日常していますか」との問いに、「ときどき」というものを含めても「日常している」という回答が中学1年生で約5割、中学2年生で3割台半ば、中学3年生で4割となっていることと結びついています。

「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくのか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきます。

## 2. 「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果

日々の授業を受ける態度については、「チャイムが鳴ってからトイレや忘れ物を借りに行かない」「教科書、ノート、教材を机の上に出している」という項目に対して「守っている」「だいたい守っている」の回答を併せると、中学校全体ではほぼ9割になります。また、「授業中にノートをとる」「姿勢を正して、授業を受けている」という項目には、「守っている」「だいたい守っている」を併せると9割台後半となります。

一方で、「授業中いねむりをしない」という項目には、「守っている」「だいたい守っている」という回答は併せても7割弱、「私語をしない」という項目には、「守っている」「だいたい守っている」という回答は併せても5割台となっています。生徒の幼さということもあり、実際の授業展開の中で集中力が切れてしまっているのではないかと思います。授業展開の工夫がさらに求められていると考えます。

学習についての自己評価では、「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」という項目では、「きちんと取り組んでいる」「だいたい取り組んでいる」と9割台の生徒が回答しています。与えられたことに対しては、きちんと取り組んでいるようです。

「生徒が主体的に学習に取り組めるようにしていく」ことについて、生徒の意欲を引き出す指導、授業展開の工夫とともに、日常的に宿題や課題を課すことを強めるようにしていきます。

## 3. 「学校生活についてのアンケート」の結果

「学校生活についてのアンケート」で、生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答をしたパーセントは、2011年度からの4年間について、各項目で次のようになります。

ただし、2013年度は2年生・3年生のみの集計となっていますので、経年比較することはできません。

	11年度	12年度	13年度	14年度
この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる。	69%	75%	76%	85%
この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる。	70%	70%	75%	83%
この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている。	76%	82%	94%	86%
この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している。	70%	79%	90%	76%
この学校の生徒は、遅刻しないように努力している。	55%	63%	70%	73%
この学校の生徒は、校則を守っている。	65%	61%	72%	67%
この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる。	75%	63%	67%	61%
この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	70%	75%	85%	90%
私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている。	66%	70%	73%	72%

「この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」「この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる」という項目には、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、一人ひとりを大切にする丁寧な指導について信頼が寄せられていると言えます。

また、「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」という項目でも、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、朝の挨拶運動の反映と思われる。

さらに、「この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している」という項目でも、肯定的な回答が比

較的高いパーセントを示していますが、引き続き、積極性を育てる教育をすすめます。

「この学校の生徒は、遅刻しないように努力している」「この学校の生徒は、校則を守っている」「この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる」という項目については、さらに改善するよう取り組みを強めていきます。

「この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」という項について、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、進路指導について信頼が寄せられていると言えます。しかし一方で、「私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている」という項目には、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を併せても7割台であり、「進路についての目標を持たせる」指導を強めていきます。

「授業アンケート」「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」「学校生活についてのアンケート」に示された生徒の意識に注目して、そこに表れる課題を踏まえて、本校教育の一層の発展を図ります。

以 上